

峠の向こうは春

三中に文化の伝統を残した三中祭!

三中祭、大変御苦労様でした。みなさんは、三中に入学以来「文化祭」を経験しないまま、今日まで過ごしてきました。しかし、そんなことだったのかと思わせない見事な取組でした。ステージで演技をするキャスト、舞台装置を制作する大道具・小道具・背景画、演出をより際立たせる音響・照明・衣装などさまざまな人たちの努力によって成り立つのが演劇です。また、みなさんは日頃SNS・メディア等でもさまざまな文化に触れていますが、自分たちで創り上げるのは、学校でしかできないことです。みなさんが大人になったとき、三中3年で演劇を創り上げたことは、他の何事にも替えることができない素晴らしい経験です。また、みなさんの演劇を鑑賞した1年生2年生は、心の中に、文化の香りと先輩の格好良さを刻んだことでしょう。自分に、そして自分のクラスに誇りを持ってほしいと思います。三中に文化の伝統を残したみなさんに万歳!!

さて、二度と経験することができない中学3年生という時期も、残り半年となりました。

いよいよ体育大会です。個人走・色別対抗リレー、縦割り種目の他に、大縄飛び、全員リレーというクラスで取り組む種目があります。そして、そもそも今回の体育大会は、みなさんにとって中学校生活最後の体育大会です。三中生全員にとって、いかに悔いのない体育大会にするかどうかは、みなさん三年生にかかっていると言っても過言ではないでしょう。みなさんの当日終わるまでの奮闘に期待をしています。

行事に取り組む値打ちとは?

さて、中学校で行われる行事の値打ちは何でしょうか?以前、ある生徒が体育大会が終わった後、その感想の中で次のように書いていました。

「同じクラスと言っても、普段しゃべらない人とは本当にしゃべることがありません。修学旅行は、新しいクラスになってすぐだし、やっぱり体育大会や三中祭の時に今までしゃべったことがない人としゃべることがありました。行事って、人と人をつなげる役割があるような気がします。」

体育大会や三中祭などの学校行事の値打ちには、彼が言っている通り、人と人をつなげる役割があります。クラスで何か一つのことを取組もうと思えば、性格の違う人同士、運動の得意な人と苦手な人同士が一緒になって取組んでいきます。その中で、厳しいことを言ったり逆に配慮したり、励ましたりしなければ成り立ちません。つまり、人と人との関わり合いが必要になります。みなさんもよく分かっていることだとは思いますが、その中で自分の思いや仲の良い人だけの思いが、通るわけはありません。みんなと何かしようと思えば、自分が引いて、他の人のことを優先したり、それぞれの思いを出し合ったりして、話し合いで解決しなければならぬことが増えていきます。違う意見に対して攻撃的感情的になることがいかに愚

かなことなのか、また陰口や悪口では何も解決しないということは、自明の理です。人間は、そういう関わりを通じてお互いの思いを理解して、成長していくものです。他人の意見に耳を貸そうとしない人は、何の進歩もありません。極端なことを言えば、いくら勉強ができたとしても、いくらスポーツが優秀だとしても、人としてまわりの人をリスペクトできない人に成長の兆しは何えませんが、それぞれのクラスが、優勝とか1位という結果にならなくても、うちのクラスは、体育大会の取組で自慢できることがあると確信を持って言える体育大会にしていきたいと思います。

リーダーの仕事は?

そんな行事、体育大会を創り上げるためには、リーダーとして立候補して頑張っている人たちの力が必要です。リーダーにとって必要なことは何でしょうか?たくさん人の前で指示ができることも必要です。でも、それは慣れれば可能になります。最も重要なことは、みんなのことを考える、特に体育の苦手な人など、体育的行事において弱い立場の人の目線で物事を考えることです。リーダーで頑張ってきた人が、体育大会の取組を通して、何かをつかんでくれることを期待しています。

授業への集中力が高まっています

中間テストが終わって約2週間が経ちました。中間テスト前あたりから、授業や学習にそして進路希望先決定に向けてかなり気合いの入っている人を見かけるようになりました。それまでに、“普通に”授業を受けていた人の中には目の色が変わって、クラスの仲間に分からないことを聞いて学力をつけようという人がいます。先日の進路通信でもお知らせしましたように、体育大会が終われば、進路希望調査→復習テスト→高校の先生方を迎えての説明会と、より一層進路に関わる内容がみなさんの毎日の生活の中心になってきます。そして、内申評定の重要な材料となる期末テストを最後に11月が終わります。そんな見通しも持ちながら、これからのp生活を送ってほしいと思います。分からないことがあれば、また不安なことがあれば先生に何でも尋ねたり、話したりしてください。3年生みんな頑張ろう!

京都府教育委員会からのお知らせです

「京都府高校生等修学支援事業予約申請」の案内を配付します。

京都府・京都府教育委員会が行っている「京都府高校生等修学支援事業予約申請」の用紙(サーモンピンク)を配付します。これは、「国からの支援」「京都府のあんしん修学支援」とは別の「貸与」によるものです。高等学校に入学してから申し込むことができますが、中学校在学中に手続きを済ませることができれば、4月から貸与が可能になります。申込を希望されるご家庭は、直接進路担当までご相談ください。

「京都府立高等学校学習用端末購入支援制度について」の案内を配付します。

京都府教育委員会は、各高等学校が指定する学習用端末(ノートPCやタブレットなど)を入学時に購入することになることから、その購入にかかる経済的負担を軽減するための支援制度を案内しています。配付しますので、ご覧ください。